

(教育福祉委員会要求資料)

令和 2 年 6 月
子ども若者はぐくみ局

「子どもが集団で過ごす施設や集団で活動する場所における新型コロナウイルス感染症の予防について（予防のポイント）」について

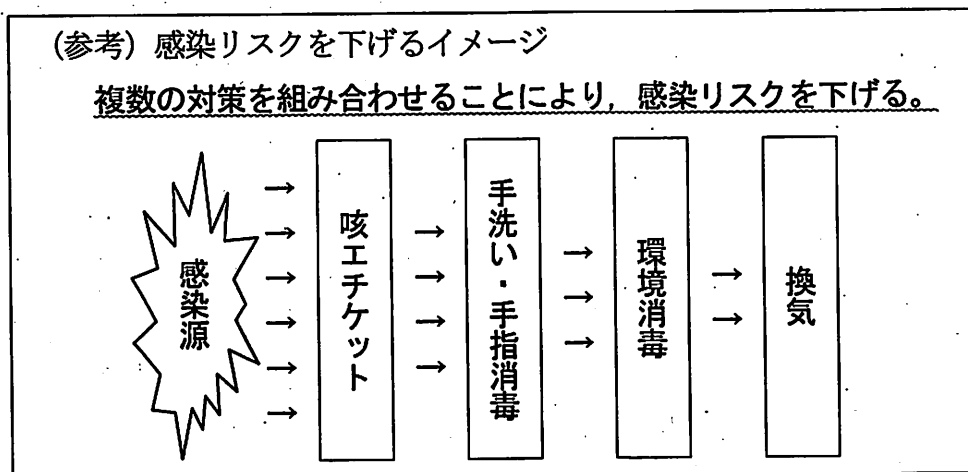
1 資料
別紙のとおり

2 その他
所管する約900施設に令和2年5月27日付けで送付済

子どもが集団で過ごす施設や集団で活動する場所における 新型コロナウイルス感染症の予防について（予防のポイント）

1 基本的な予防

- 新型コロナウイルス感染症は、主に「飛沫感染」と「接触感染」により感染すると考えられています。施設等における感染症対策としても、この点に留意してください。
- 新型コロナウイルス感染症などの感染症は、①感染源、②感染経路、③感受性（免疫が十分でなく体に入った細菌やウイルスが増殖する）、という3つの要件が全てそろって感染が成立します。現時点ではワクチンや特効薬がないので、「感染者を隔離すること」と、「感染経路を遮断すること」が大事です。
- 施設等においては、発熱や風邪等の症状がある子どもや職員の利用等を控えていただくことで、万が一その人が感染していた場合に、感染源と接触するリスクを減らすことができます。また、感染経路の遮断に当たっては、以下のとおり、複数の対策を組み合わせることが大切です。



- ※ 咳エチケット、手洗い・手指消毒、換気のポイントは、別紙1を参照してください（「新型コロナウイルス感染症 ～市民向け感染予防ハンドブック」（東北医科薬科大学病院）から抜粋したものです。）。

2 施設等における予防の留意点

- 子どもが集団で過ごす施設や集団で活動する場所については、子ども同士や職員との距離が近く、日頃から会話、集団遊び、スポーツや歌唱などを行っていることから、いわゆる「3密」（密閉・密集・密接）を避けにくい環境であり、子どもが自ら適切な咳エチケットや手洗い等を実施することも、なかなか難しいと考えられます。
- このため、上記の基本的な予防の実施について、施設等での活動の各場面における留意点をまとめましたので、施設・設備の状況や、利用者の人数・特性等も踏まえ、各施設等における感染症予防対策の実施当たり、御活用ください。

- ※ 保育園等における感染症予防対策については、「保育所における感染症対応ガイドライン（2018年改訂版）（厚生労働省）」等も参照してください。

次のページへ続きます

(1) 基本的なこと

- 基本的には、どのような場面でも、①ウイルスを含む飛沫が目、鼻、口の粘膜に付着するのを防ぐこと、②ウイルスが付着した手で目、鼻、口の粘膜と接触するのを防ぐことの2点が、対策のポイントです。
- 子どもの年齢に応じて、マスク着用等の咳エチケットや手洗い（流水と石けんによる。以下同じ）について指導しましょう。
- 公益社団法人日本小児科医会からは、2歳未満の子どもにマスクは不要、むしろ危険であるとの見解が示されていますので、御留意ください。（別紙2参照）
- 咳やくしゃみ、鼻をかんだ時には、手洗いを行いましょう。
- 子どもは無意識に顔を触っていることも多いと思います。ウイルスは目に見えませんが、普段から子どもに対して「洗う前の手には、ばい菌がついている」ことを、年齢に応じたわかりやすい表現で伝える等し、手洗い前に顔を触らないよう指導していただくことも大切です。

(2) 登園・通所

- 子ども・職員ともに、登園・通所前及び出勤前の検温など健康管理を行い、発熱や風邪等の症状がある場合や、解熱後24時間以上が経過し、呼吸器症状等が改善傾向となるまで登園等を控えることを徹底することで、感染源となる可能性のあるものと接触するリスクをできる限り減らすことが大切です。
- 室内に入る前には、手洗いや手指消毒（以下、「手洗い等」といいます。）を行いましょう。
- 可能であれば、登園等の時間を分散させることも、人の密集を避けるためには有効です。
- 送迎バス車内では、咳エチケットや換気などを徹底しましょう。

(3) 屋内遊び

- できるだけ多く換気を行いましょう。
 - 粘土やおもちゃで遊んだ後や、手が汚れたときは、手洗い等を行いましょう。
 - 職員も子どもも咳エチケットを徹底しましょう。子どもで、マスクがないときやマスクの着用が難しく、活動中に咳・鼻水などが出てきた場合は、可能な範囲で、ティッシュペーパー等で鼻や口をカバーするといった対応も実施しましょう。
 - 室内は日々の清掃で汚れを落として清潔に保ち、よく触れるような机、ドアノブ、手すり、照明のスイッチ、おもちゃ等は、アルコール等による消毒を行いましょう。
- ※ 次亜塩素酸ナトリウム水溶液で金属部分を消毒した場合、その箇所が錆びるおそれがありますので、消毒後は水拭きしましょう。

(4) 屋外遊び（運動・スポーツなど）

- 屋外遊びの前後には、手洗い等を行いましょう。
- 基本的に、運動・スポーツを行う上でも、マスクの着用など咳エチケットを実施することは感染の予防に有効です。
- 一方で、運動を行う際のマスク着用により、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクが指摘されています。このようなリスクを考慮して、学校の体育の授業でのマスクの着用は必要ないことが示されましたが、あわせて、児童生徒の間隔を2m以上確保し、不必要な会話や発声を行わないよう指導する等の対策を講じる必要があることも示されています（軽度な運動の場合や、児童生徒がマスクの着用を希望する場合は、マスクの着用を否定するものではありません。）。

- ・ 以上を踏まえて、屋外遊びにおいて子どもがマスクを着用する場合は、子どもの年齢や活動の内容等を考慮して、子どもの身体に負担がかからないよう、配慮するようにしましょう。

※ 運動時にマスクを着用する場合は、家庭用マスクを着用するよう注意しましょう（外気を取り込みにくいN95マスクなど医療用や産業用マスクの着用は避けましょう。）。

- ・ 用具や遊具を使う場合は、できるだけ消毒してから使うようにしましょう。
- ・ 可能であれば、子どもの年齢・クラス等によって屋外遊びを行う時間を分けるなどの対応も、人の密集を避けるためには有効です。

(5) 食事・おやつ

- ・ 食事の前後には、手洗い等を行いましょう。
- ・ テーブルは、食事前に清潔な台布巾で水（湯）拭きしましょう。アルコール等で消毒する場合は、拭いた後に十分に乾燥させてから使用しましょう。
- ・ スプーンやコップ等の食器は共用しないようにしましょう。
- ・ 使用後の食器等については、「大量調理施設衛生管理マニュアル（厚生労働省）」に沿い、洗浄、加熱、殺菌、乾燥を行うなど、衛生管理を徹底しましょう。
- ・ 児童が、他の児童の食器に触れないように注意しましょう。
- ・ 子どもが対面にならないように配席することも有効です（学校給食では、机を向かい合わせにしない、会話を控えるなどの対応が例示されています。）。
- ・ 一方で、保育園等での乳幼児の食事については、友達や保育士と「一緒に食べる方が美味しい」と感じるような体験を積み重ねることや、気持ちを共感しあう、食べ物の話をするなどしながら、楽しく食べる習慣を育てることが望ましいとされています。
- ・ これらを踏まえ、食事の際には、少人数グループで時間差を設ける、子ども同士の距離をできるだけ確保する等の感染対策をした上で、楽しく食べる習慣を育てていきましょう。
- ・ 子どもの年齢に応じて、「食事中は大きな声を出さない」等の食事のマナーを子どもに指導しましょう。
- ・ 複数の子どもを同時に介助する際は、保育士が感染の媒介とならないよう注意しましょう（子どもの鼻をかむ時、泣いている子どもをあやす時など特に注意が必要です。）。
- ・ 食後には、テーブル、椅子、床等の食べこぼしを清掃しましょう。
- ・ はみがき指導を行っている場合は、歯ブラシやコップの衛生的な管理に十分配慮しましょう。

※ 食事・おやつ提供時のポイントは別紙3参照

- 「できるだけ感染のリスクを下げていく」という考え方に基づき、各施設等の実情も踏まえて、職員や関係者で協議等していただいたうえ、1つ1つの対策を最大限に実施しましょう。
- 新型コロナウイルス感染症対策とともに、プールの安全対策、熱中症対策等についても十分な対策を実施しましょう。

対策 1.

咳エチケットを守りましょう！

マスクは、咳やくしゃみによる飛沫やそこに含まれるウイルスなどの病原体が飛び散ることを防ぎます。

- 咳・くしゃみなどの症状のある人はできる限り、外出を控えましょう。
- やむを得ず出かけるときは、正しい方法でマスクを使いましょう。

咳やくしゃみをする時は、ハンカチやティッシュ等で口と鼻を覆い、他人から顔をそむけ、1メートル以上離れましょう。

- 使用した紙は、すぐにゴミ箱に捨てて手を洗いましょう。
- ティッシュがないときは、洋服の袖で口・鼻を覆います。



咳の症状があるときは、周りの人へうつさないためにマスクを着用しましょう。

咳をしている人に、マスクの着用をお願いしましょう。

対策 1.

咳エチケットを守りましょう！

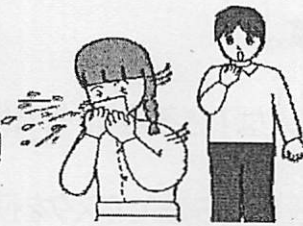
咳エチケットを実践しましょう



①咳症状があるときは、マスクを着用する



②咳・くしゃみの時はティッシュで口と鼻をおおう



③咳・くしゃみの時は周囲の人から顔を背け、1メートル以上離れる



④鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱*に捨てる



⑤液体石けんと流水で手を洗う

*：ゴミ箱にはビニル袋をかける。ふたに手を触れずに廃棄できるゴミ箱を使う。

マスクは正しく使いましょう

付け方



裏表を確認する



ノーズピースを鼻の形に合わせる



ひだを上下に伸ばし、下あごまでしっかりとおおう

外し方



マスクの表面に触れず、ひもを持って外す



外したマスクはその手でゴミ箱に捨てる



手洗い・手指の消毒をおこなう

対策 2.

手洗いをしましょう！

自宅に感染症を持ち込まないためには・・・

外出時は、多くの人が触れた場所を自分も触れている可能性があるため、外出から戻った後は、流水と石けんで手を洗うか、アルコールで手指を消毒しましょう。

家庭の中での手洗いのタイミング

- ・ 外出から戻った後
- ・ 多くの人が触れたと思われる場所を触った時
- ・ 咳・くしゃみ、鼻をかんだ後
- ・ 症状のある人の看病、お世話をした後
- ・ 料理を作る前
- ・ 食事の前
- ・ 家族や動物の排泄物を取り扱った後
- ・ 自分がトイレを利用した後



外出中も手洗いのタイミングは同様です。

洗面台もアルコールもない場合や、小さな子ども、手の不自由な高齢者は、アルコールを含んだウェットティッシュで両手をゴシゴシと隅々まで丁寧に拭くのも効果的です。

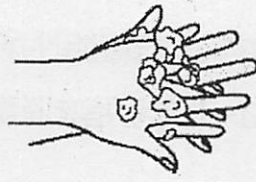
対策 2.

手洗いをしましょう！

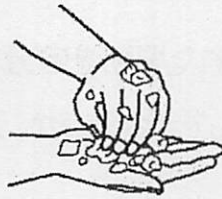
流水と石けんによる手洗い



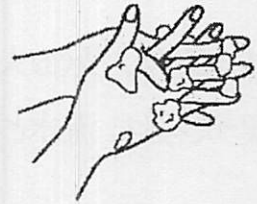
①手を水でぬらし、手のひらにせっけんをとり、よくこすりあわせる



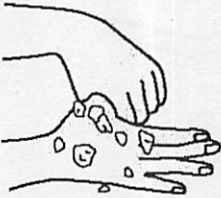
②手の甲を伸ばすように洗う



③指先や爪の間をよく洗う



④指の間を十分に洗う



⑤親指と手のひらをねじり洗う



⑥手首を洗う



⑦流水でよくすすぐ



⑧ペーパータオルでよく拭く
(水道の蛇口は手を拭いたタオルでしめる)

アルコールを用いた手指の消毒



①手のひらに適量の消毒薬をうけとる



②手の平と手の甲に伸ばすようによくすりこむ



③指先や指の背、指のまたによくすりこむ



④親指を手のひらでねじりながらよくすりこむ



⑤手首を手のひらでねじりながらよくすりこむ



⑤乾くまで全体によくすりこむ

対策 3.

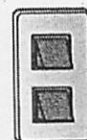
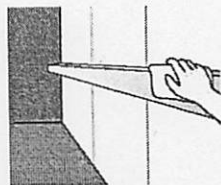
環境消毒・換気

咳やくしゃみなどの症状がある人が、手で鼻や口をおさえると、手にウイルスがつきます。その手で手すり、テーブル、ドアノブなどに触れることで、ウイルスが環境表面につきます。そして、他の人がその場所を知らずに触り、自分の口、鼻、目を触れることで感染することがあります。

<環境消毒>

- 家族がよく触れる場所（部屋のドアノブ・照明のスイッチ・リモコン・洗面台・トイレのレバー等）を消毒します。
- 1日1～2回、ドアノブ、テーブル、てすり、スイッチなど、手のよく触れるところを、薄めた漂白剤（0.05%次亜塩素酸ナトリウム水溶液）または、アルコールを含んだティッシュで拭きましょう。

※漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム水溶液）を使用した場合は、拭いた場所がさびるおそれがありますので、消毒後は水拭きしてください。

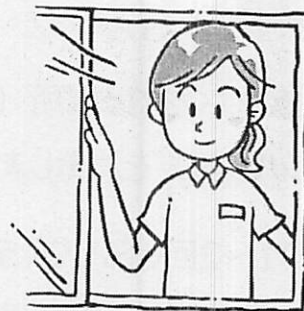


対策 3.

環境消毒・換気

<換気>

- 感染症の伝播（うつる）を防ぐためには、部屋のウイルス量を下げするために、部屋の十分な換気を行います。日中は1～2時間ごとに5～10分間窓や扉を開けるなどして部屋の空気を新鮮に保ちましょう。



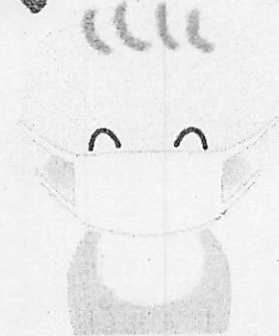
<空間>

- 症状がある家族とは、できる限り部屋を分けましょう。症状がある家族の部屋は、窓のある換気ができる部屋にします。
- 症状がある家族本人および同居の人は石鹸と流水でよく手を洗い、同じ部屋などで目安として1～2メートル以内で接するときは、どちらもマスクをしましょう。

2歳未満の子どもにマスクは不要、むしろ危険！

乳児のマスク使用ではとても心配なことがあります。

- ・ 乳児の呼吸器の空気の通り道は狭いので、マスクは呼吸をしにくくさせ呼吸や心臓への負担になる
- ・ マスクそのものやおう吐物による窒息のリスクが高まる
- ・ マスクによって熱がこもり熱中症のリスクが高まる
- ・ 顔色や口唇色、表情の変化など、体調異変への気づきが遅れるなど乳児に対する影響が心配されます。



★世界の新型コロナウイルス小児感染症からつぎのような点がわかってきました。

- ・ 子どもが感染することは少なく、ほとんどが同居する家族からの感染である
- ・ 子どもの重症例はきわめて少ない
- ・ 学校、幼稚園や保育所におけるクラスター（集団）発生はほとんどない
- ・ 感染した母親の妊娠・分娩でも母子ともに重症化の報告はなく、母子感染はまれです。



子どもの新型コロナウイルス感染症は今のところ心配が少ないようです。

2歳未満の子どもにマスクを使用するのはやめましょう

参考

＊米国疾病予防管理センター（CDC）の新型コロナウイルス感染症のQ&Aより

Q：子どものマスク使用について

A：2才以上の子どもが人と接するような外出をする場合にはマスク使用を薦めますが、2歳未満の子どもには窒息の恐れがあるため使用しないでください。

https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/faq.html?CDC_AA_refVal=https%3A%2F%2Fwww.cdc.gov%2Fcoronavirus%2F2019-ncov%2Fprepare%2Ffaq.html#COVID-19-and-Children

＊アメリカ小児科学会（AAP）もCDCと同様に、2歳未満の子ども、とくに赤ちゃんのマスクは危険と警告しています。

<https://services.aap.org/en/pages/2019-novel-coronavirus-covid-19-infections/masks-and-children-during-covid-19/>

CDCとAAPの警告に従って、アメリカのAmazonは0-3歳の子どもの向けマスク広告を自社サイトから削除しました。

新型コロナウイルス感染症の予防

食事・おやつ 提供時のポイント



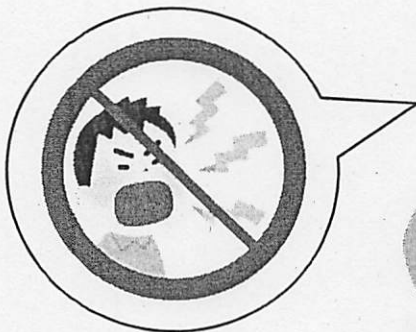
- 食事・おやつの前には手洗いをしましょう。
- テーブルは、きれいなふきんで拭きましょう。



- スプーンやコップなどは、他の人と一緒に使わないようにしましょう。
- 他の人の食器にさわらないようにしましょう。
- 向かい合わせにならない、席を離して食べるなどの工夫も有効です。



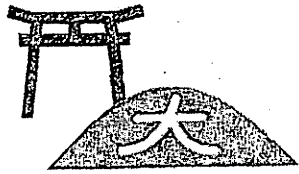
- 食事中は大きな声を出さないようにしましょう。



- 食後は、テーブル、イス、床の食べこぼしを掃除しましょう。
- 感染予防の対策をしたうえで、楽しく食べる習慣を育てていきましょう。

京都市民の皆様へ

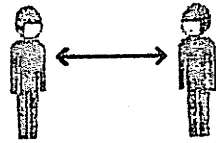
新しい生活スタイルを実践しよう ～京都の魅力再発見～



不要不急の府県をまたいだ移動はまだガマンのときです！
みんなで「STAY in KYOTO」
京都での楽しみ、魅力を再発見しましょう

1 人との間隔を空けよう

人との間隔はできるだけ
2m（最低1m）空け、
混雑を避けましょう。
座席もひとつ飛ばしで！



2 マスクでお出かけ

これから暑くなってきましたが、
お出かけするときは、
マスクを着用しましょう。
水分補給も忘れずに！



3 帰宅後は手や顔を 洗いましょう

引き続き、感染しない、
うつさない取組を！



4 おいしいお食事を デリバリー&テイクアウトで

京都のお料理屋さんのお食事を
デリバリー&テイクアウト！
お家でおいしい食事を楽しみましょう！



5 ゆったり、 京都で小旅行

京都の宿泊施設で、
ゆったり。
これまで知らなかった
京都を発見！



6 京都の文化を楽しもう

美術館、博物館、図書館、植物園、
動物園等、で、京都の文化を学び、
楽しめます！
この機会に行ったことのないところへ
行ってみよう！



新型コロナウイルス感染を予防するために

「新しい生活スタイル」 を実践しましょう

感染防止の
3つの基本

【例えば・・・】

① 身体的距離の確保

② マスクの着用

③ 手洗い

● 人との間隔は、
できるだけ2m
(最低1m)
空けましょう。



● 会話をする際は、
可能な限り
真正面を
避け
ましょう。



● 外出時は、
症状がなくても
マスクを
着用
しましょう。



● 家に帰ったらまず、
手と顔を洗い
ましょう。
(手洗い30秒)



● 食事の際は、
対面ではなく
横並びで
座りましょう。



※高齢者、持病をお持ちの方と会う際は、体調管理により注意してください。

京都市公式SNSで
新型コロナ関連の情報を
随時配信中。

Facebook Twitter

【公式】京都市情報館

検索

LINE

京都市LINE公式アカウント

検索

京都市新型コロナウイルス感染症対策本部
(事務局:防災危機管理室 075-222-3211)

発行:令和2年5月
京都市総合企画局市長公室広報担当
京都市印刷物 第022058号

京都市
CITY OF KYOTO

京都府広報

